

容疑者は青森市出身



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番99号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット
号外

購読の
お問い合わせは
東奥日報社読者局
0120-491533
24時間受付

秋葉原無差別殺傷

静岡の工場に勤務

6日から連絡取れず

八日昼、東京都千代田区外神田一丁目 JR秋葉原駅近くで通行人や警察官が次々とサバイバルナイフで刺され、七人



加藤智大
容疑者

が死亡、十人が重軽傷を負った無差別殺傷事件で、殺人未遂の現行犯で逮捕された静岡県裾野市富沢派遣社員加藤智大容疑者(25)は、青森市の出身であることが分かった。警視庁の調べに対し同容疑者は「人を殺すため秋葉原に来た。世の

中が嫌になった。誰でもよかった。きょうは一人で来た」と供述しているという。加藤容疑者は小・中・高校と青森市内の学校を卒業し、自動車関係の仕事に就く希望を持っていたことから、静岡県内の自動車関係の専門学校へ進んだ。

現在は、派遣会社が契約しているマンションに住み、昨年十一月から派遣先の静岡県内の自動車部品工場で働いていた。仕事は自動車部品の組み立てや塗装で土曜、日曜日は休み。先週木曜日の五日まで普段通り出勤していたが、翌六日は無断欠勤し、連絡が取れなくなっていた。



通り魔事件で取り押さえられた加藤智大容疑者 (右) 8日午後0時30分ごろ (提供写真)

